

キセル展

～粹な道具の世界～

2012年3月2日(金)～4月8日(日) 会場：燕市産業史料館 企画展示室

キセルが日本の喫煙具として、最も盛んに使用されていたのは江戸時代と言われています。そのころ、キセルはただの喫煙具ではなく唯一のアクセサリとして流行していました。

江戸時代からキセルを作り続けてきた燕市が、キセルの一大産地として絶頂期をむかえたのは昭和10年から20年代で、組合員数は約400人でありました。しかし、材料代高騰や紙たばこの普及などで組合員数は激減し、現在キセル職人の数は全国で数人となりました。一方で、外国ではキセルや道具を作る技が注目され始めています。

今企画展では、人間国宝玉川宣夫さんやキセル職人飯塚昇さんの作品を始め、当館収蔵品丸山コレクションの作品を展示します。是非、日本の優れた技術をご覧ください。



主催 / 燕市
 会期 / 2012年3月2日(金)～4月8日(日)
 休館日 / 3月5日(月)・12日(月)・19日(月)
 3月21日(水)・26日(月)
 4月2日(月)
 開館時間 / 9:00～16:30
 入館料 / 大人 300円・小人 100円
 ※土曜日、日曜日、祝日は燕市内の小中学生及び、
 付添保護者1名無料。
 事務局 / 959-1263 新潟県燕市大曲 4330-1
 燕市産業史料館
 TEL / 0256-63-7666
 FAX / 0256-63-7669

作品解説会

期日 / 3月11日(日)
 時間 / 14:00～15:00
 場所 / 燕市産業史料館 企画展示室
 料金 / 無料
 ※申し込み不要(入館券のみ必要)

■出展作家

飯塚昇 石川光明 加納夏雄
 柴田是真 玉川宣夫 野島厚次
 長谷川豊平

他